

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の需要喚起策『ワンツー・コイン』で佐久のこんな店 あんな店が ざっくざく！！～お客様への想いを店主の心意気で倍返し感動を～
事業主体 (連絡先)	佐久商工会議所 青年部 (0267-62-2520)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,626,400円 (うち支援金 1,826,000円)

#### 事業内容

地域の商工業者が連携し、知恵やアイデア、工夫を凝らした商品やサービスを500円や1,000円という負担の少ない価格で設定・提供することにより、消費者にお店を広く知ってもらい、来店動機付けとする事で、消費の落ち込みを食い止め、地域経済の活力を呼び戻す。

- びっくり！ワンツーコイン冊子の製作
- スタンプラリーの実施
- 参加店・一般市民へのアンケート実施
- 利用者の個人情報を利用参加店へフィードバック、終了後も効果が続くようにDM等支援



#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①あるお店では、期間中300人を超えるお客（うち半数以上が新規）がお店を訪れ利用した。お店や味、人となりなどを知ってファンづくりにつながった。
- ②スタンプラリーでは109名の参加があり、同意のもと応募して頂いた個人情報を利用店へフィードバックする事で、終了後の案内や関係づくりに繋げることができた。また、各店独自に次につなげる取組みを実施した。
- ③参加店は、「新商品開発」によるお客の反応を見ることができ、利用が多かったお店は事業意欲がわいた。
- ④8月末に「信濃毎日新聞」にて掲載され、やっている事を知らなかった人が冊子を取りに來たり、スタンプラリーの呼び水になったり、終盤まで事業効果が続いた。

#### 【目標・ねらい】

- ①消費税増税後の購買意欲の促進
- ②商店街等の周知と来店動機付け
- ③市外広範からの誘客と顧客開拓
- ④地域の活気あるイメージ発信

#### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

参加店が100店を上回り、あるお店では期間中300人を超える利用者があり(うち半分が新規)、スタンプラリーの応募数も109人と多く参加店、一般市民ともに大変好評で、各種新聞でも取り上げられた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

期間中本事業をやって終わりではなく、同意のもと応募いただいた個人情報を一般市民が利用したお店にフィードバックし、その後のファンづくりや関係づくりを継続することで、事業効果を永続的に発現することができる。商工会議所が実施することで、経営指導員によるその後の経営支援にもつなげることができる。

また、参加店はもちろん、一般市民からも継続を希望する声が多く、年1回だけでなく年末や春先等の開催も検討していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある